

## 株主総会における本市の発言要旨

### 1. ゼロカーボン社会実現への貢献について

ゼロカーボン社会の実現には、電力・エネルギー分野におけるリーディングカンパニーとして、関西電力の果たすべき役割は非常に大きいと考えている。

- ・再生可能エネルギーの最大限導入・主力電源化に加え、水素エネルギーの利活用拡大、原子力発電の安全性確保、火力発電の非化石燃料化を推進し、発電・小売部門の双方においてゼロカーボン化に取り組む必要があると考える。
- ・また、再生可能エネルギーを広域で最大限利用するために、電力系統の整備や、系統用蓄電池・水素等を活用した需給調整機能等の創出を、早急に進めていく必要があると考える。
- ・さらに、国は、今年度中を目途に、エネルギー基本計画の改定に向けた議論を集中的に行うことを表明しており、次期計画が示された際には、国内電力会社をリードする決意で適切に経営に反映するとともに、具体化を進めていく必要があると考える。

以上を踏まえ、ゼロカーボン社会実現への貢献について、今後の方針と具体的な取組を伺う。

### 2. 電力の安定供給と電気料金の高騰抑制について

電力は市民生活及び社会・経済活動の基盤であり、多様なエネルギー源を長期的・安定的に確保し、低廉で安定的な電力供給を維持することで、市民生活や経済活動に及ぼす影響を最小限にとどめることが重要である。

国による再生可能エネルギー発電促進賦課金の引き上げ等に伴い、これまで以上に、徹底した経営の合理化・効率化やデジタル技術も含めた新技術を活用したコスト削減等により、電気料金の高騰抑制及び安定化に最大限努める必要があると考える。

そこで、電力の安定供給と電気料金の高騰抑制について、今後の方針と具体的な取組を伺う。